

令和元年度 教育学会

令和元年度 教育学会・学会セミナー

令和元年度第77回教育学会は二部構成で開催され、第一部では、ご退職される教育学科四名の先生方による記念講演が行われました。岡崎裕子先生からは「『生涯発達』の視点と『障がい』の捉え方－それぞれの学びを通して考えたこと」、墨村充子先生からは「出会いに感謝!」、藤村裕爾先生からは「教員の働き方」、大槻美智子先生からは「来し方行くすえ」というタイトルのもと、ご講演いただきました。ご講演では、先生方のこれまでのご経験はもちろん、人との繋がりや心豊かに生きることの大切さを学術的な視点とともに、笑いも交えて楽しくお話していただきました。先生方お一人お一人の素敵な人柄に溢れたご講演は、多くの学生にとって心に残る、思い出深い貴重な時間となりました。

教育学会の第二部では、学生による研究・実践発表が行われました。峯ゼミ3回生（幼児教育専攻）による「トーンチャイム・ミュージックベルによる演奏」では、練習を重ねたグループ演奏による素晴らしい音色が響き渡りました。4回生の近藤智士さん（特別支援教育専攻）による研究発表「不随意運動が顕著な重度・重複障がい児における臨床動作法を通じた姿勢動作の自己制御及び外界への能動性の活性化」では、実践的な取り組みに基づく深い視座からの論考と成果が発表されました。また、志学館1階では、竹本ゼミ（学校教育専攻）・山本ゼミ（幼児教育専攻）の4回生による卒業制作展が開催され、卒業研究の成果が発表されました。

令和元年度教育学会セミナーでは、守口市の元小学校校長であり、指導要領改定に携わっておられた福岡知子先生をお招きし、「子どもの主体性を育む教育・保育について－保幼小連携の視点をふまえて－」という題目のもと、ご講演いただきました。ご講演では、幼・小の教育要領の改定のポイントや子どもの主体性を育む教育・保育の本質的な内容について、ご自身で実践された小学校での授業動画を参考に、わかりやすくご解説いただきました。学生は、先生のご経験に基づく具体的な実践内容を熱心に聞き入っており、深い学びの時間となりました。

◆◆◆教育学会◆◆◆

第77回教育学会

日時 2020年2月6日（木） 於：カトリアホール

第一部 退職記念講演

- ❖ 岡崎裕子先生 「生涯発達」の視点と「障がい」の捉え方
－それぞれの学びを通して考えたこと
- ❖ 墨村充子先生 出会いに感謝!
- ❖ 藤村裕爾先生 教員の働き方
- ❖ 大槻美智子先生 来し方行くすえ

第二部 研究・実技発表

1. 「トーンチャイム・ミュージックベルによる演奏」
逸崎絢音・井上美春・内田智子・大原あかね・白樫慈央・田中伽歩・辻怜子・花田莉子・
藤田朋己・藤原彩香・本田菜々美・渡辺海月
2. 「付随意運動が顕著な重度・重複障がい児における臨床動作法を通じた姿勢動作の自己制御及び
外界への能動性の活性化」
近藤智士

◆◆◆◆教育学会セミナー◆◆◆◆

第1回教育学会セミナー

日時 2020年1月15日（水）14:50～16:20

演題 子どもの主体性を育む教育・保育について –保幼小連携の視点をふまえて–

講師 福岡知子（元守口市小学校校長）

令和元年度 教育学会運営状況

◇学会委員

会 長：大槻美智子

学生委員：（4回生）小西菜月 近藤智士 杉本奈央

（3回生）青柳美穂 菊地望友 込山大輝 水谷涼 山本仁聖

（2回生）図師涼太 岡崎彩果 西川文崇

幹 事：山本将之 竹本封由之進 峯恭子

◇活動

5月 学会委員会・教育学会総会

6月 学会費徴収

11月 学会委員会

1月 第1回教育学会セミナー

2月 第77回教育学会